

## 第3回未来ビジョン会議

- 1 日 時 令和元年7月30日（火）午後7時から午後8時30分
- 2 場 所 ふれあいセンター多目的ホール
- 3 出席者 伊東市未来ビジョン会議委員16人（欠席4人）

### 4 会議概要

#### (1) 開会

行政経営課長から開会

#### (2) 本日の会議の概要

事務局から説明

#### (3) 総合計画について

内容は以下のとおり

#### (事務局)

それでは皆さん、本日はよろしくお願いいいたします。

早速、総合計画とは何かについて説明をしてみたいです。この後、藤の広場での飲食等ございますので、頭はそちらにいつているかと思いますが、少しお付き合いいただければと思います。

本日、資料等をお配りしておりますが、皆さん、総合計画の冊子を今までにご覧いただいたことがある方いらっしゃいますか。

どういった時にご覧になりましたか。

#### (A委員)

市役所1階の窓口インフォメーションに置いてあったのを読ませてもらいました。

#### (事務局)

読んだ感じの印象はどうでしたか？

#### (A委員)

難しいこと、知らないことがたくさん書いてあるなという印象でした。

#### (事務局)

なかなか手にする機会がないというか、私たちの周知が駄目なのかその辺は分かりませんが、これを機にこういうものなんだとご理解いただければと思います。ぜひ手にとって読みたいなと思えるものにしていきたいと思いますので、今回、総合計画の説明や皆さんに総合計画を策定するに当たっての意見をいただいている中で、その辺を踏まえて、ぜひ協議をしていただけたらと思います。

なかなか難しそうであるとA委員からご意見ございましたが、そういった意見が出るのは正直致し方ないかと思えます。行政が作る冊子や計画書は言葉が難しかったり、良い意味で遊び心がなかったりと言われます。観光のプロモーションに近いイメージがあると思いますが、市が作るものは施設の紹介文章だけで大部分を占められたり、特定の

お店を紹介できなかつたりと、どうしてもお堅いというか面白味が欠けるものになる事がございます。

ただ、この未来ビジョン会議に「ぷらんぽ女子会さん」のB委員にご参加頂いているのですが、私が広報担当をしているときに取材をさせていただいて、ここで10年ぶりに再会させていただいているのも何かのご縁かなと思います。「ぷらんぽ」って、皆さん見たことはありますか？観光パンフレットの中でも手が込んでいて、手に取ってみたくするような工夫がされております。

例えば、ぜひお聞かせ願いたいのですが、今総合計画をぱっと見ていく中で、B委員から見てどういう印象があるのか、あるいはこういったことをしたら良いとか、今の時点でご意見があれば伺いたいと思います。指名してばかりで申し訳ないですが。

#### (B委員)

字が多いなという印象で、おそらく読もうという意識の方なら、きちんと読んでくださると思いますが、読んでみようかなとか別に読む気がないという方に対しては、読んでもらいたいと思うのであれば、タイトルが大きいのではなく結論が大きいとか、イラストや写真等わかりやすく絵で見せることをなさった方がよいのかなと思います。

#### (事務局)

本当に良い意見をいただきましてありがとうございます。そういった皆さんからの意見を次回以降のワークショップの中で、こうしたらもっと手に取ってもらえとか、プロモーションの部分に関してでもよいので、ご意見を伺いたいと思います。次回以降、グループに分かれて協議をしていきますが、伊東市の将来像、こんなまちになってほしいとか、そういったご意見を基本的には伺っていきます。その辺は、今日来ていただいている地域まちづくり研究所さんとプログラムを組みまして、皆さんに説明をして本格的にグループワークに入っていきたいと思います。

そういうわけで、少し皆さんとコミュニケーションが図れたところで、時間もありませんので、ここからは少し難しい話になりますが、おつきあいをいただければと思います。

前回、皆様には総合計画を策定する作業を今後進めていく、その前段として、市の現状や課題等について知識を深めていただくことを目的として、両副市长及び教育長からそれぞれの所管分野の現状や課題等の説明をしていただいたところです。今回の会議の目的は、総合計画とは何なのかについて、少し基礎的な知識を深めていただくことにあります。

それでは、前回お配りした第十次基本計画と、本日A3の1枚紙、さらにはA4の実施計画をお配りしておりますので、それらを用いて説明いたします。

おさらいになりますが、総合計画は、将来伊東市をどのようなまちにしていくのか、そのためにはどのようなことをしていくのかを、総合的かつ体系的にまとめたものです。

総合計画とは別に、子育てや環境、健康、福祉、観光など政策分野ごとに課題や目標、実現に向けた具体的な取組等をまとめた個別の計画がございますが、総合計画につ

きましてはこれら全ての個別計画の基本となるものであり、最上位の計画に位置付けられる、いわば市のまちづくりを進めていくための道しるべとなるものであります。

お配りしている冊子の2ページを御覧ください。

現在の伊東市総合計画は、記載のとおり計画期間を平成23年度から令和2年度までの10年間としていることから、計画期間が満了となる残り約1年半の期間において、次期、第5次伊東市総合計画策定に向けて作業を進めていく必要があります。

総合計画とひとえに言われていますが、この表にあるとおり基本構想と基本計画、実施計画の3層で構成されております。

基本構想は、長期的な視野に立ったまちづくりを進めていく必要があるという観点から計画期間を10年間とする中で、7ページに記載されているとおり、まちづくりを進めるための基本理念や将来像と、その実現に向けた政策目標や方針などを示しています。

2ページに戻りまして、基本構想の下に前期と後期の基本計画がぶら下がる形となっていますが、基本計画は、基本構想を実現するために取り組む政策分野における施策などを示しております。こちらは中期的な観点から基本構想の実現を図る必要があることから、計画期間を前期・後期、それぞれ5年間とする中で、社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じて後期に見直しを行うということになります。

いま、皆さんが手にとっている冊子がこの後期基本計画になります。

実施計画は、基本計画に掲げた施策を実現するために、より具体的な手段実施内容と目標を示すもので、計画期間は、毎年度検証・再評価を行う必要があることから、1年間としております。

以上の3層で構成されるのが総合計画でありますので、まずは総合計画を策定するに当たっては、この街の将来像の部分に係る基本構想の策定を行っていく必要がございます。そのため、委員の皆様には、この未来ビジョン会議において、伊東市には、今どんな課題があるか、その中でも伊東市がもつ強みは何かなどの、いわゆる現状分析を次回以降にグループごと行っていただきます。その中で、今後10年の伊東市がどのようなまちになることを望むか、その将来像についてや、目指すべき将来像を実現するために取り組むべき政策等についてご意見を伺ってまいりたいというわけであります。皆さんから出た意見というものを参考にこの冊子は作られていくということになります。もちろん未来ビジョン会議の意見だけではなく、市民の皆様にアンケートをとるなどもしています。ただ、皆さんの意見を参考にして、今後の10年間の冊子がつくられいくことになります。

ここでまた少し聞いてもよいでしょうか。委員の中には4名、市役所の職員の方がいますが、どうですか。いまの説明で総合計画がこういう階層になっていることはわかりましたか。

(C委員)

自分がいる部署の関係上、耳にする機会、目にする機会はあると思いますが、具体的に何であるか聞かれた時に説明できなかつたのかなというのは正直あります。

(事務局)

私も行政経営課に来る前に総合計画をしっかりと読めていたかと言えば、そうではなかったりするので、そういう意味で市職員の方にとって勉強にもなりますし、大変良い機会になるかと思えます。職員の若手のホープたちに聞いてみたく指名させていただきましたが、市の職員の方も少しでも説明ができるようになっていただけたらと思えます。

では、総合計画の構成が理解できたところで、現在の第4次総合計画の内容についてももう少し詳しく見ていきたいと思えます。

A3の紙と併せて御覧下さい。A3の紙にもあるとおり、基本構想を策定するために、課題の抽出や伊東市の強み・弱みの抽出など、所謂現状分析を行っていて、こういった現状分析を委託業者さんがデータをもとに分析したり、市民の皆さんが集まる市民会議の場、今回でいえばこの未来ビジョン会議で議論していただいたり、市民の皆様からアンケートをとるなどして行っています。

例えば、ここに主要課題として、アの本格的な少子高齢社会への対応から、エの観光交流を主軸にした地域活力の向上まで4つ挙げられていますが、これら課題も、市民の皆様からの意見やアンケートなどを通じて出されています。

こういった現状分析により得られた結果などから、基本構想が固められていき、現在の第4次総合計画では、冊子の10ページに記載のとおり、目指すべき将来像を「ずっと住みたい また来たい 健康保養都市伊東」としています。これは、市民の皆様から出された意見をもとにしたSWOT（スウォット）分析により、強みの部分で豊かな自然があるとか、水がおいしいであるとか、空気が澄んでいるとか、市民の皆様が伊東市にずっと住みたいと思えるベースがある、同じく強みの部分で温泉や自然景観などの強みから伊東に来た来誘客の方々が、また来たいと思える、住んでみたいと思えるベースがあるというところの中で、このようなキャッチフレーズを現在の計画で設定しています。

そして、この将来像を実現するために12ページから15ページにかけて4つの政策目標を設定するとともに、その目標を達成するための施策を18ページと19ページのとおり定めているという体系になっています。

ちなみに、政策とか、施策という言葉、あまりなじみがないかと思われそうですが、政策とは、政治の策のことで、行政の大まかな方針や方向性のことを言います。施策とは、この政策を実行すること、という意味になります。

ですから、ページ戻りまして12ページに政策目標の1つ目として、素晴らしい自然環境の中で、子どもから高齢者まで、健康でいきいきと暮らせる地域をつくり、やさしさと笑顔があふれるまちを目指しますという政策を掲げておりますが、これを実現するために、18ページに記載の地域の医療を充実させる、出産・子育て支援の充実を図るなどの策を実施することが施策です。

同じように、2つ目の政策目標を、13ページ、防災対策や消防・救急体制の充実、地域ぐるみの防犯活動の推進を通じて、住んでいる人はもちろん訪れる人の誰もが、安全・安心で快適に過ごすことができるまちを目指しますとしており、施策として消防・救急体制の強化、災害対策の充実などを定めています。

3つ目の目標を、14ページ、豊かな自然と調和した住環境の中で、人々が心豊かにいきいきと暮らし、誰もが「住んでみたい、住んでよかった」と実感できる教育・文化の

あるまちを目指しますとしており、施策として、教育環境の整備や教育の充実などを定めています。

4つ目の目標を、15ページ、温泉を始め、美しい自然景観や伝統ある歴史・文化などの固有の地域資源と、多様な人材が存在する伊東の「場の力」をいかして、新たな産業を創出するとともに、次代を担う若者の雇用の場を確保し、魅力・活力に満ちあふれたまちを目指しますとしており、観光の振興や健康保養地づくりの推進などの施策を定めています。

さらには、これら目標を下支えするものを構想の推進として、市民参画によるまちづくり（16ページ）や健全な財政運営（17ページ）などを図るための行財政改革に関する施策などを定めています。

これら施策のうち、重点的に取り組むべき施策を20ページから22ページにまとめていて、健康や子育て支援など記載の8つの施策となり、この頭文字のKをとって「いとう8K」と称しています。観光でいう「伊東八景」とうまくリンクしていることとなります。

以上が、基本構想の中身となります。

続いて、基本計画の中身を説明いたしますので、28ページを御覧ください。

基本計画では、先ほど説明した、政策目標ごとに掲げる各施策の具体的な内容を定めております。ここでは、施策1-1の地域医療の充実についての具体的な内容となります。地域医療の充実については、現状と課題として、入院患者の半数以上が市外の医療機関であるとか、市民病院の安定的な経営が必要であるとか、6つ挙げております。このように現状と課題をまず分析した上で、導き出された目標が、その下の、質の高い医療を受けることができるまちをめざすということであり、この目標を達成することによって、地域医療を充実させることにつながるんだよという組み立てになっています。そして、1番下に記載されている成果指標の2つが、その目標が達成できているかの判断基準の一つとなりますよということです。

では、目標である質の高い医療を受けることができるまちを目指すためには、どうすればいいかということが、29ページに記載されていまして、地域内の医療連携の推進や災害医療体制の充実など、記載の5つの方策を定めています。方策というのは、言い換えるなら、方法があるよということになります。

基本計画は、今申し上げました内容が、各施策に定められておりまして、ここでA4両面の資料を合わせてご覧いただきたいと思っております。こちらが実施計画になりますが、実施計画はページ数が多いため、説明用に施策1-1に係る部分だけ抜粋したものを配付しております。ただいま基本計画の説明の中で申し上げました各方法に対する手段、言い換えるなら実施内容をまとめているのがこの実施計画になります。意味合いとしましては、例えば、3の01のところをご覧ください。0101地域内の医療機関からの紹介を推進しましょうね、0102紹介医療機関への逆紹介を推進しましょうね、これらを推進することで、01の方策、地域内の医療機関の推進が図られますね、という意味になります。また、実施計画では、この各手段・実施内容に係る計画年度までの各目標を定めるとともに、基本計画で定める各施策の成果指標、さらには各方策における、同じく計画年度までの各年度における目標を定めており、毎年、評価を行っているところであります。

す。よく行政はやっただけで評価をやっているのかと言われるますが、こういったかたちで計画をつくり、各年度で目標を出して、それに対して評価をしっかり行っています。

このうち、各施策の成果指標の実績をA4ホチキスどめの「進捗状況」にまとめてございますので、基本計画の冊子114ページから118ページに掲載している一覧と合わせ御覧ください。今回は、時間に限りがありますので、この中からいくつかの施策の進捗状況を説明いたします。

1-1、地域医療の充実に係る指標のうち、市内医療機関の受診率は、平成30年度において減少しており、平成32年度までの目標まではまだ開きがあるという状況です。担当課は、市民病院の一部の診療科において常勤医師が不在であったことなどが減少した原因と分析しております。

1-3の出産・子育て支援の充実に係る指標である、子育てを楽しみと思う親の割合は、平成27年度の基準値と比較すると上昇しており、平成32年度の目標まであと少しの所まで来ております。子育てサロン事業などの乳幼児期を対象とした事業を拡充したことなどが要因と分析しております。

1-4の保育の充実に係る指標については、策定当初から指標が変わっており、ホチキス止めの資料をご覧ください。指標は、園児が楽しんで保育園に行っている割合となりますが、平成28年度から99%と変わらずに推移しており、目標である100%までは達していない状況であります。市内保育園間での保育内容や健康・安全・給食等の情報交換を実施し、楽しい保育行事となるよう努めておりますが、1%が埋まらない状況となっております。

1-5の高齢者福祉の充実に係る指標である、元気な高齢者の割合は、各年度目標値には達していないものの、平成28年度から着実に目標値に近づいていっております。これは、65歳以上の市民のうち、要支援・要介護認定を受けていない方を「元気な高齢者」とし、65歳以上人口に元気な高齢者が占める割合の目標値を85%としていますが、健康体操クラブや一般介護予防教室等の介護予防事業の実施により、徐々に目標値に近づいていっているものと分析しております。

続いて、飛びまして2-1の消防体制の強化に係る指標である、消防団員数については、災害の多様化・大規模化などから消防団の重要性は増している中、本市では、各分団及び各行政区（各町内会）において地域内等の消防団員候補者を勧誘し、入団させることにより条例の定数である506人を維持しています。

次に、2-6ゴミ対策の充実に係る指標のうち、リサイクル量については、各年度目標値に届いておりませんが、プラスチック製容器包装ステーション分別収集の全市での実施に向け、今後取り組んでいくことでリサイクル量を高めていきたいとしております。

次に、3-1教育環境の整備に関する指標のうち、教育用コンピュータ1台当たりの児童生徒数については、目標値5.0人以下のところ6.4人以下であり、目標を達成することはできておりませんが、これにつきましては、校務支援システムの導入をまず優先したことによるものであります。

次に、3-2教育の充実に係る指標である、幼稚園が楽しきと思う子どもの割合については、目標である100%には届いていない状況であります。平成28年度から着実に実績は向上しているため、引き続き、施設及び遊具の整備を行い、園児が安心して楽しく園生活を過ごすことができる環境を維持するとしております。

次に、3-5 市民スポーツ活動の支援に係る指標である、スポーツ施設の年間利用者数については、平成28年度に市民体育センターの耐震補強工事が完了したことに加えトレーニング室を含む大原武道場利用者の恒常的な増加によって、若干目標値には届いていないものの、平成29年度には、大幅に増えるなど、利用者数は安定しているものと考えられます。今後は、利用者の安全性や周辺環境への影響を勘案し、市民運動場の人口芝生化事業を推進していきます。

次に、4-1 観光の振興に関する指標のうち、観光客数については、各種イベントを毎年実施していますが、観光客数を大きく伸ばす要因とはなっておらず、若干の浮き沈みがあるものの、ほぼ横ばいの状態が続いております。観光客数増に繋がるよう既存のイベントを整理し、観光地として何を求められているのかをしっかりと把握していき、いつ来ても楽しんでいただける仕組み作りに入力してまいります。

次に、4-2 健康保養地づくりの推進に関する指標のうち、体験型ツアーのプログラム数については、目標値50プログラムに対し53プログラムと目標を達成しております。体験施設紹介に特化したホームページを開設する中で、体験施設の情報を改めて整理し、平成32年度の目標達成に向け、順調に推移しております。

次に、4-5 農林業の振興に関する指標のうち、耕作放棄地面積については、農地への再生ができない箇所について非農地化を進めたことで目標を達成しております。

以上が、現在の計画の進捗状況に係る説明となりまして、基本構想・基本計画・実施計画で構成される総合計画の基本的な説明となります。

なかなか、難しくすぐには頭に入ってこないかと思っておりますので、基本的な部分を押さえていただけたらと思います。

これから総合計画の基本構想を策定していくのですが、繰り返しになりますが、皆さんには次回以降、グループに分かれていただいて、伊東市の現状分析を行っていただき、将来どのような伊東市にしたいかなどについて議論を行っていただきます。細かいプログラムは、委託業者である地域まちづくり研究所さんと協議をして、次回、始める前には説明させていただきます。

また、先ほど基本構想の策定にあたっては、市民会議や市民アンケートで得られた意見を参考にしているという説明をしましたが、そのアンケートが本日お配りしている市民満足度調査になります。これは知ってたよという方はいますか？

市民2,000人を対象とした調査で毎年実施しています。せっかくなので、この調査結果についても最後に触れていきたいと思っております。お配りしているものは昨年度の結果でございます。次回からのグループワークに向けて参考にさせていただければと思います。経年比較にはなっておりませんが、ここ数年、ほぼ同じ推移になっていると捉えていただければと存じます。

それでは4ページを開いてください。伊東市を住みやすいと感じている人が、どちらかというと住みやすいまで含めると約7割、逆に残りの住みにくいとと感じている人が、その理由としてあげるものの上位は、医療・福祉が充実していないことや働く場所が少ないこと、日常生活が不便であること、などがあります。

6ページから8ページにかけては、市が行っている取り組みを43に分けて、その満足度を調査し、9ページから11ページにかけては、同じく重要度を調査しています。

まず、満足度ですが、8ページが評価順になります。安全でおいしい水の安定供給やごみ対策の充実、史跡や郷土芸能の強化などが上位に来ており、満足できていない取り組みとして企業誘致などを通じた雇用の創出・確保、新たな事業の立ち上げ支援及び起業家の育成、公共交通対策の充実などがあります。

次に、11ページの重要度の評価順です。市民の皆様が重要と捉えている取り組みは、災害対策の充実が98.3%で1位、これは満足度では58.9%、重要と感じている取り組みの2番目は、98%の地域医療の充実で、満足度では46.3%、続いて3番目は市の財政の健全な運営で97.2%、満足度では35.2%となっており、いずれも、現状に満足できておらず、かつ市民としては非常に重要と捉えている取り組みとなります。4番目から6番目の消防・救急体制の充実や、交通安全対策、おいしい水の安定供給などは、現状にもある程度満足しており、また重要度も高い取り組みとなっています。

12ページには、今後の市政に望むこととして公共施設の効率的な活用や組織のスリム化などが上位に、13ページには、建て替えや拡張を進める必要がある施設として、観光会館と図書館が上位に来ています。

以上、簡単ではございますが、アンケートの結果の説明となりまして、総合計画の説明についても、以上で終わりたいと思います。

### (3) 質疑応答

それでは質問や意見など何でも良いので、もしあればこの場でお願いしたいと思いません。

#### (D委員)

最後の満足度調査ですが、この数字はどうなんでしょう。まず回答率が40%で未回答が60%、70歳以上の方が18.5%で60歳代が29%の時点で47.5%の方の回答ってことですよ？その上での満足率ですよ。サイレントマジョリティーではないですが、結局声を出していない人たちのところが大分ある、当然声を出さないから反映されないのですが。毎年、アンケート調査を行っているとおっしゃいましたが、毎年こういう結果になっていると思います。本来、サイレントマジョリティーの方に耳を傾け、吸い上げる努力をするべきだと思います。先ほどの医療の充実にしても何にしても財源無くしては何も充実できないわけですから、その部分の獲得にもつながってくるはずなんです、例えばこのアンケートがまず、10代に10枚、20代に10枚、30代に10枚と、全部公平な枚数が配られているのか、それとも住民の率に応じて年齢が高い人の方に多めに配られているのか、そういったことは後日教えていただけないのかなど。まず年代で公平に配られているのか、また答えていない60%の方に耳を傾けるためにこの数年間何かしてきたのかを伺いたいです。

#### (事務局)

まず満足度調査の課題として、D委員からもご指摘ありましたように、回答率が低い、ここ数年50%くらいで推移をしています。ただ調査としては大体30%票がとれば良いというのがありますが、それでは駄目ということで、昨年度は我々で勧奨通知を出すなどして一時期30%だったものを50%まで上げたのですが、また10%下がってしまった。なぜ下がったかといえ、調査開始から一週間、二週間で勧奨しているものを、一

か月経ってのリアルな回答率を改めてみたいということで、回答期限が終わった後に勸奨を出したところ、調査票を捨ててしまったとか、そういった生の声がありまして、その辺が影響して10%下がったというのがございます。ただ、50%、40%という回答率があったとしても、D委員からご指摘があったように若い世代の意見が実はすごく少ないので、今回は中高生のアンケートを実施して、さらには高校生を集めて意見を聞く高校生ミーティングを実施することにより、若い世代の意見を吸い上げていきたいと思っております。ただ、20代、30代が弱いので、その辺をどうするかは少し考えていきたいと思っております。調査のやり方としては、各地区の人口を年齢別に出して、ある程度均等に抽出しています。貴重な意見をありがとうございます。

(E委員)

戻って進捗状況の話になりますがよろしいでしょうか。専門的な話になりますが、最後の表の漁業関係の所ですが、水揚げ高でなく水揚げ量の統計にしているのはどうしてですか？市政とかに関わってくるのはやはり水揚げ高と思うのですが。要はいくら売り上げがあったかの方が重要だと思いますが、総量の方を載せているのは、市としてこちらの数字の方が重要度が高いということですか？安定した食糧の供給といった面を重視されているのですか。

(行政経営課長)

どういうわけで値段なのか量なのか、わからないのですが、あくまで値段は市場に左右されることがあるので、安定した漁獲量をとっているかどうか、当然市場等の動きもあるのかもしれませんが、漁師さんたちの活動というか、そういうかたちでの水産業の振興の実情をみて、値段よりは水揚げ数量の方がデータとしては安定しているということではないかと思っております。

(E委員)

市の行政として関わる点でいくとやはり価格面の話になるかと思ひ質問しました。

(行政経営課長)

今回のそういったところも意見としていただければと思ひます。

(事務局)

私の説明を聞いて少しでもわかったよと思ひて下さった方いますか？

(F委員)

説明がどうこうよりは、前回、副市長さんからも現況の説明を頂いたのですが、ものすごい幅広いものを薄っぺらく説明されるので理解しようがないです。前回これを貰ったのですが、次の会までに一字一句ではないですが、大体こんなことが書いてあるとわかるように宿題を投げかけるなりした上で、できたらもう少しテーマを絞った話をしながら、一年間やってもらった方がよいと思ひます。実際この1時間で説明されたところで何にも頭に残らない感じなんです。だからわかりますかと言われても、「はい」、しか言いようがないです。

(事務局)

おっしゃる通りだと思います。この場で全部説明することは難しいですし、この間の副市長の話もかいつまんでの説明になってしまっているの、なかなか難しいところはあります。今回総合計画を策定するにあたっては、お配りしている基本計画に目を通していただいて、当然こういった物があることも知ってもらいたい気持ちもありますが、どちらかといえば、日頃皆さんが仕事やプライベートなどで伊東市に対して感じていること、不満でもよいですし、逆にこんなところが好きだとか、知識を入れないなかで普段感じていることについて議論することも重視していただければと思います。

(行政経営課長)

この会議の委員は、行政に関してプロの集団ではないという気持ちでおりますが、ただそれぞれの職場での活動において、私たちよりその道で優れていらっしゃると思います。そういった視点から意見をいただければと考えておりますので、お願いしたいと思っております。薄っぺらい話になったというご指摘ですが、あくまで伊東市の現状をざっくりとこんな感じなんだと踏まえていただければと思いますので、よろしくお願いたします。

(D委員)

私はこの席に座る時点で、大分勉強して来ないといけないと思って座っているので、薄っぺらいとは思っていません。資料を見させていただいて、はじめて水揚げ量と水揚げ高の単語の違いも知りましたし、そういう新しい視点で突っ込める人が突っ込むことが有意義であると思います。言ってしまうえば私は観光の方が強いので、観光の満足値100%と、こんな数値を掲げて良いのかと正直思いますし、100%を達成した後はどうするのかとか、そういうことが拾えると思うのです。先ほど、総合計画の冊子を見ましたかという投げかけがありましたが、実は前回の後から読みましたが、いろいろ突っ込まれるのが嫌だったので手を挙げませんでした。見たといえるほど見てないと思ひまして。私は市にお邪魔する機会も多いので、こういう情報を勉強しないといけないと思ひていますが、最初に担当からオファーいただいた時にも、そのようなお話を少しさせていただいた気はするので、私は今のやりかたは基本的に嫌ではないです。ここに座る責任と、未来ビジョン会議ですよ、そこに輝かしいものを持ってくればいい話だと思うので、これだけの人がいるので新しい情報、新しい話、ただ強いて言えば、テーマは決めた方がいいのかなと思います。例えばこれを漠然と皆で作っていくと言われても、分厚いとか、どこまで反映されるのだろうかとか、もしそういうお答えがあるのであれば、最初から見せてほしかったと思います。少し角が立つかもしれませんが、座っている我々にも責任があるのではないかと思います。

(事務局)

ありがとうございます。10年前に総合計画を策定した時は、同じように市民の皆さんに集まっていたいて、一回目から伊東市の強みや弱みは何ですかという議論に入りましたが、やはりそうではなく、少し伊東市のことを知ってほしいというのがありまして、ましてや未来を考える未来ビジョン会議という会議体ですので、出来る範囲で説明

をしたうえで、この総合計画を皆さんで作っていきたいというのがあり、今回は実際にグループワークに入る前に、こういった説明をさせていただきました。

(事務局)

それでは時間も回ってしまいましたので、今日はこのあたりにしまして、次のフィールドワークに移りたいと思います。今日はどうもありがとうございました。

(4) フィールドワーク

ふれあいセンターから松川遊歩道、藤の広場までのにぎわいの現状を確認

以 上